

# AMENITIES

生活を彩る施設

**N.ZONE**  
これからのくらしを提案する、ネクストライフゾーン

**E.ZONE**  
にぎわいと交流が広がる、エンジョイゾーン

**W.ZONE**  
多様な体験により創造性を育てる、ウィルゾーン

**S.ZONE**  
健康的毎日をサポートする、スポーツゾーン

① パークホームズLaLa名古屋みなとアクルス  
快適・安心・安全な暮らしを実現し、多様なライフスタイルが楽しめる住まい

② エコ・ステーション  
水素、天然ガス、LPガスの充填設備を備えた総合エコ・ステーション

③ 第II期開発予定地

④ 邦和みなとゴルフ  
高級感漂う、優雅で開放的な全72打席、230ヤードのゴルフ練習場

⑤ ベーカリー&喫茶 チェリー  
食パンをはじめとしたこだわりのパンが人気の、ゆったりとくつろげるお洒落なお店

⑥ 邦和グリーン  
庭づくりや外構の設計から施工まで手掛ける展示ガーデン併設型の店舗

⑦ 邦和みなとインドアテニス  
3面の人工芝コート、冷暖房、パウダールームなどを充実した施設

⑧ エネルギーセンター  
スマートタウンのエネルギー需給を一括管理する中核施設

⑨ エネルギーセンター1階  
プロ厨房オイシス 東海地区最大級の体験型業務用厨房ショールーム

⑩ みのとアクルスUBフットサル場  
15m×32mのスポーツフローリング張りピッチ3面を備えた全天候型施設

⑪ まちのショールーム「AQNAVI」  
多彩なコンテンツでまちづくりの取り組みを紹介する情報発信拠点

⑫ 邦和セミナープラザ  
研修室、宿泊室、ホール、大浴場、レストランを備えた宿泊型研修施設

⑬ 邦和スポーツランド  
アイススケートリンク、温水プール、文化教室などがある複合型施設

⑭ まちづくりアドバイザー事務所  
まちづくりアドバイザーによる相談窓口

## みなとアクルス

名古屋市港区港明二丁目他

- 「栄駅」より地下鉄名港線にて15分、「港区役所駅」下車 徒歩2分 「東海通駅」下車 徒歩4分
- 名古屋市営バス 港区役所停留所すぐ

### お問い合わせ

東邦ガス株式会社 地域開発推進部  
052-872-9606(土・日・祝日を除く午前9時～午後5時)

東邦不動産株式会社 港事業部  
052-653-3733(土・日・祝日を除く午前10時～午後5時)

ホームページ  
<http://minatoaquls.com>



2019年3月発行



人と環境と地域のつながりを育むまち



# AQUA

運河・自然に親しみ、こころ潤うまち

## 水と緑に親しむまちづくり

港北運河沿いに緑道「キャナルウォーク」を整備し、水に親しむ特色ある空間づくりを行うとともに、外周部歩行者空間や東西を結ぶ「アクリスロード」、中央エリアの「オーバルガーデン」など緑豊かな空間を整備し、緑化率25%の自然豊かな都市空間を形成しました。また、来街者が水と緑を愛でながらゆったり散策できるよう、歩行者中心の緑道や通路を整備しました。



キャナルウォーク

アクリスロード

## 都心と港を結ぶ水系ネットワーク

名古屋都心と港を結ぶ中川運河。その新たな価値と果たすべき役割の実現に向けて名古屋市が策定した「中川運河再生計画」に基づき、名古屋駅エリアと港エリアを結ぶ水上バスの定期運航がスタートし、みなとアクリスの乗船場にも寄港しています。中川運河を通じた水系ネットワークによる周辺地域の活性化が期待されており、当地も貢献していきます。



みなとアクリス内に乗船場を整備



# LINK

人と人、人と地域をつなぐ、笑顔咲くまち

## にぎわいと交流を育む、多様な都市機能

### 地域にひらかれた多彩な交流スペース

水辺を楽しむ「キャナルウォーク」、緑豊かな大広場「オーバルガーデン」など地域にひらかれた数々の交流スペースを整備。季節を彩るさまざまなイベントが催され、多様な人、モノ、コトとの出会いが広がり、みなとアクリスおよび地域社会の活性化と災害に強い安全・安心なまちづくりを推進します。

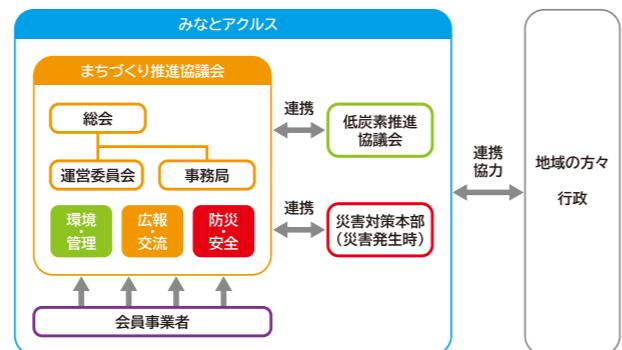


交流スペースを活用したイベントを開催

エネルギー・システムと自然にふれるエコツアー

### まちの発展を支えるエリアマネジメント

みなとアクリスの関係者によって組織される「まちづくり推進協議会」。地域の方々や行政と連携しながら、安全・快適な公共空間の維持・管理をはじめ、にぎわいの創出、防災・防犯などに取り組み、みなとアクリスおよび地域社会の活性化と災害に強い安全・安心なまちづくりを推進します。



# SMART

スマートエネルギーを実現し、進化するまち

## 環境に配慮した電力供給システム

ガスコーチェネレーションや太陽光発電、外部からの木質バイオマス電力により、エリア内の電力需要の約半分を賄い、自営線で各施設へ電力を供給します。大型蓄電池のNAS電池を導入し、夜間の余剰電力を蓄電して昼間のピークカットに活用することで、CO<sub>2</sub>を削減します。

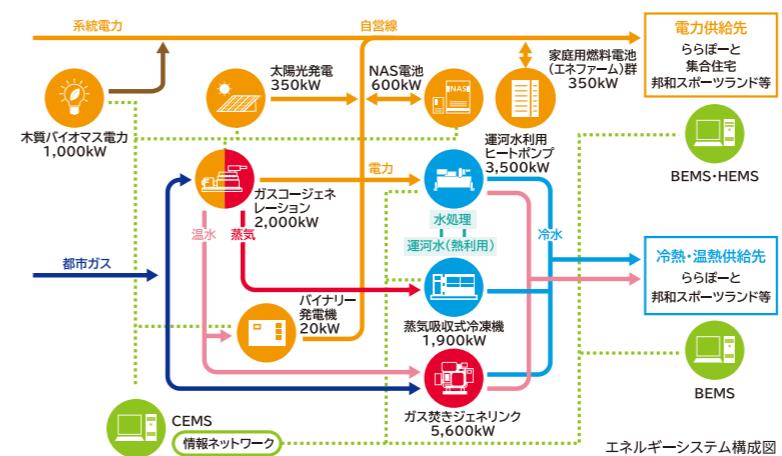
## 熱利用の高度化

ガスコーチェネレーションの排熱を最大限に利用するため、排熱回収型冷温水機を導入するとともに、低温の排熱から発電ができるバイナリー発電機を導入し、省エネ性と経済性を向上させます。さらに、運河水と気温の温度差を活かして、運河水をヒートポンプの冷却水および熱源水として有効活用することで、エネルギー消費量を削減します。

## CEMSによるエネルギー・マネジメント

都市再開発において中部圏初となる電気・熱・情報のネットワークCEMS(コミュニティ・エネルギー・マネジメント・システム)を構築して、需要家側と供給側が一体となって省エネルギー、CO<sub>2</sub>の削減に取り組みます。供給側では、エリア内の各施設に設置されたエネルギー管理システム(BEMS、HEMS)\*との連携や気象情報や過去データに基づく発電・需要予測などにより、最適なエネルギー制御運転を行います。需要家に対しては、エネルギー消費や発電状況を見える化し、必要に応じて節電を要請します。

\*BEMSは商業施設・スポーツ施設、HEMSは集合住宅を管理



国内最高水準のエネルギー効率 (1990年比)

省エネルギー率  
**40%**

CO<sub>2</sub>削減率  
**60%**

名古屋市「低炭素モデル地区事業」第1号に認定

## 各種補助金対象に採択

- 先導的「低炭素・循環・自然共生」地域創出事業(環境省)
- 自立・分散型低炭素エネルギー社会構築推進事業(環境省)
- サステナブル建築物等先導事業(国土交通省)

## 地域防災への取り組み

### エリア内・地域連携の防災対策

大規模地震に備え、各施設の耐震性を確保するとともに、電力自営線や熱導管などのライフラインには液状化対策を施しています。また、津波発生に備え、エネルギーセンターおよびららぽーとにおいて津波避難ビルの認定を受け、約9,000人の収容を可能にしています。



### 災害時のエネルギー供給継続

分散型電源によるエネルギー・ネットワーク、耐震性の高い都市ガス導管、冷却水(運河水・井水)の確保により、災害時でもプラントの継続運転を可能とし、各施設へエネルギーを供給し続けます。また、隣接する港区役所にも非常用電源を供給し、地域の防災機能の強化に貢献します。

